

# ご存知でしたか!?

青森県弘前市に、東日本大震災被災地の要介護者約70名が現在も生活されている施設があります。

青森県弘前市で活動する社会福祉法人弘前豊徳会は、東日本大震災直後から、被災地の要介護者受入に取り組んできました。7年以上継続してきたこの取り組みで、のべ160名以上を受け入れ、岩手、宮城、福島3県合計で70名近くが、現在も弘前市の施設で生活されています。(右表参照)  
被災地からの避難入所者の皆様は、故郷に戻ることを希望されていますが、地元で受け入れ可能な施設がなかなか見つからない現状です。

## 県外避難者を受け入れている施設

- ・介護老人保健施設 サンタハウス弘前
- ・有料老人ホーム(住宅型) サンタハウス迎賓館

## 都道府県別 延受入数/継続入所者数

	①	②
岩手県	61名	28名
宮城県	56名	23名
福島県	46名	16名
合計	163名	67名

①…震災直後からの延受入数

②…現在も弘前市で生活されている方々の実人数

※平成30年6月23日時点

# 本事業の概要

宮城県から「サンタハウス弘前」に避難入所中の方(本人・家族)の帰郷ニーズを確認し、早期帰郷実現を目指して支援いたします。

本事業は、5つの取り組みで構成されます。

## ①「サンタハウス弘前」に入所されている方及びそのご家族様を対象に、帰郷についてのご希望を把握するための調査をします。

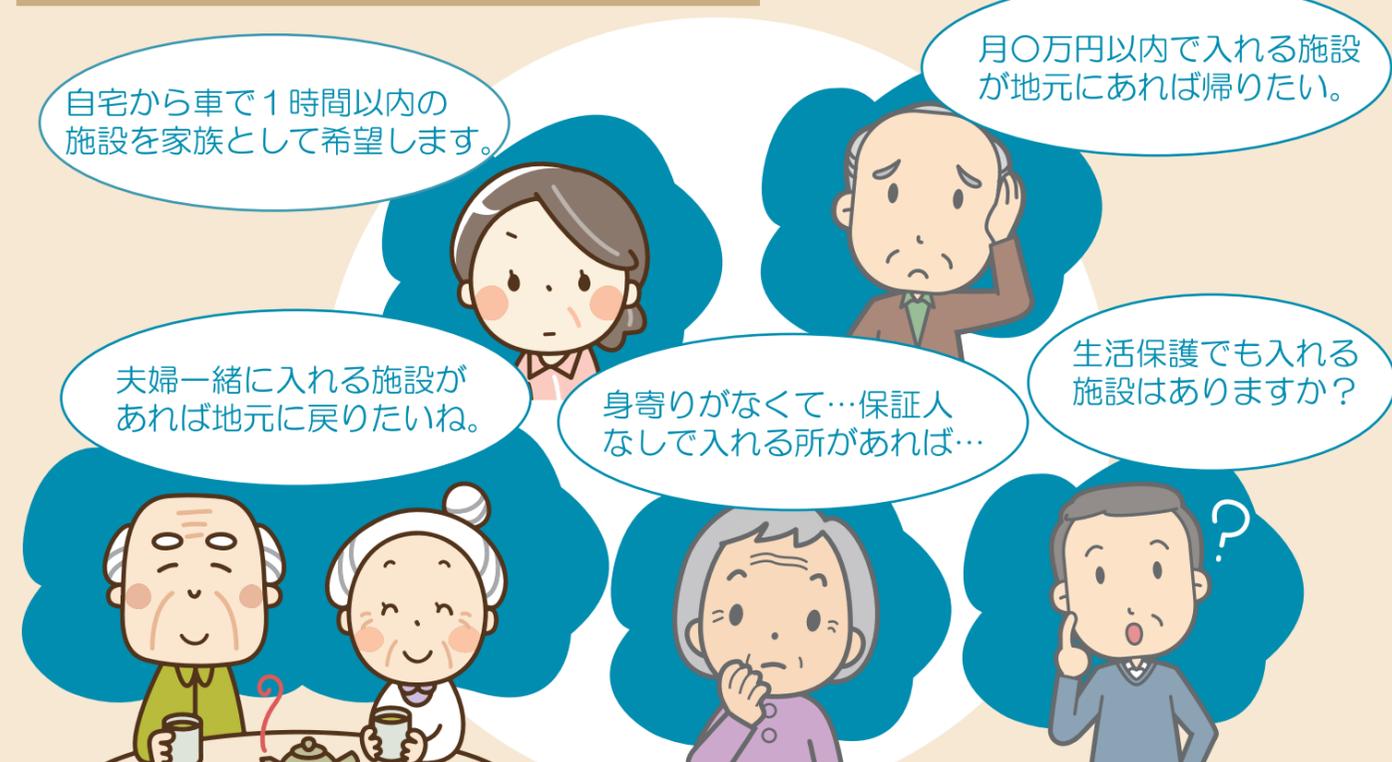


避難入所者及びご家族様に対し、面談、電話、アンケート送付・改修等の手段により、帰郷に関する要望や不安な点などを教えていただきます。

【お尋ねする内容の一例】

- ・帰郷先として容認できる、ご自宅からの距離
- ・帰郷先の施設に支払い可能な一月当たりの費用
- ・帰郷時、送迎(無償)を希望されるか 等々

## 避難入所者及び家族から寄せられるご要望のイメージ



## ② 宮城県(一部岩手県含む)の介護施設・医療機関等に対し、県外避難者の帰郷受入に係る体制について調査します。

【介護施設・医療機関等にお尋ねする質問の例】

- ・ベッドの空き状況(空きが出る時期の見込み)
- ・対応可能な医療ニーズの種類や程度について
- ・施設利用時の、1カ月当たりの費用の目安
- ・身寄りのない方の対応が可能かどうか
- ・帰郷者受入時、弘前豊徳会による送迎対応を希望されるかどうか



## ③ 取り組み①②でそれぞれの条件が一致する、避難入所者及びご家族様と宮城県等の介護施設・医療機関等の組み合わせを探します。

避難入所者及びご家族様のご要望と、介護施設・医療機関等の受入のための条件をマッチングします。このことにより、帰郷実現が可能なケースを見つけます。



## ④ ③で見つけた帰郷可能な施設等と帰郷時期の調整を行います。

帰郷が可能なケースについて、帰郷を受け入れる施設等と具体的な帰郷時期の調整や打ち合わせを行います。

## ⑤ 「サンタハウス弘前」を退所し宮城県(一部岩手県含む)施設等に入所される際に、福祉車両による移送を行います(無償)。



帰郷時には、当法人の職員と福祉車両で、宮城県(一部岩手県含む)の施設等まで、移送させていただきます。

この移送時に発生する人件費、車両燃料費、高速道路利用料金等は「みやぎ地域復興支援助成金」及び当法人財源から支出され、帰郷者の費用負担はありません。

※無償移送実施期間：平成31年3月31日まで